

米国経済点描（2007. 12. 29）

～2007 年 11 月の失業率～

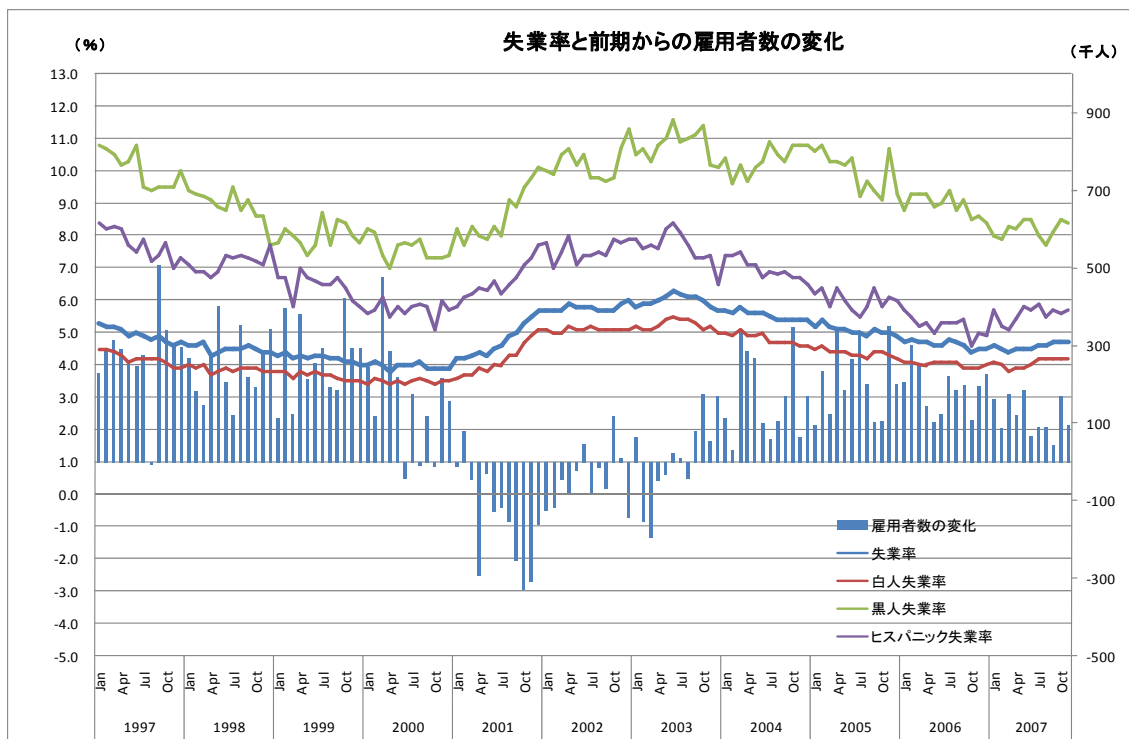
12 月 7 日に米国労働省労働統計局（BLS）が公表した世帯調査に基づく 2007 年 11 月の失業率は、9 月以来同じ 4.7%であった。

また、同調査に基づく 11 月の就業者数は、暫定値で前月より 69 万 6 千人増加。10 月は 25 万人の減少であったが、再び増加となった。

また、事業所調査に基づく非農業部門の雇用者数（industry payroll employment）は、季節調整済みの暫定値で 9 万 4 千人増（対前月比 0.07%増）と、10 月（17 万人増）に続いて比較的高い増加となった。

11 月の失業率は本年の中で一番低かった 3 月の 4.4%からみると、0.3 ポイント低下しているものの、雇用者の増加は 2003 年 8 月以来続いており、雇用情勢は今のところ概ね安定的である。

また、雇用増となったのは専門的・技術的サービス、ヘルスケア、食品サービスである。反対に減少したのは、製造業、建設を含む住宅関連産業、信用販売、不動産で、この辺にサブプライム問題の雇用への影響が現れはじめています。したがって、趨勢的には、雇用環境は厳しさを増すとみて間違いのないであろう。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル 4 F
TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp